

アキュラホーム、「第5回キッズデザイン賞」を受賞

～『しあわせデザインプロジェクト』『木望の未来プロジェクト』がフューチャーアクション部門で～

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)は、「第5回キッズデザイン賞」(主催:特定非営利活動法人キッズデザイン協議会、後援:経済産業省)において、当社の家守り活動の一つである「しあわせデザインプロジェクト」と、社会貢献活動の一環として昨年スタートした「木望の未来プロジェクト」の2点が「フューチャーアクション部門」で受賞いたしました。



キッズデザイン賞とは、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもたちを産み育てやすいデザインを顕彰する制度です。子ども向け製品・サービスに限らず、子ども目線を持った良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを対象に与えられます。今回応募総数303点の中から、当社は『フューチャーアクション部門』(子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与するもの)において下記の2点が選ばれました。

■ しあわせデザインプロジェクト ～ちょっとしあわせまちづくり～

地域居住価値を高め、子どもを産み、育てやすいまちを維持するために、住宅新築の際に家庭内、及び近隣とのコミュニケーションが誘発・醸成され、家やまちへの愛着が持続できるようなシカケ(しあわせの種蒔き)を施します。作り手(住宅供給者)は、『地域のコミュニケーター』として継続的に住まい手(住宅購入者)の成長をサポートし、「しあわせの種」が人と人との繋がりを通して1戸から地域全体に波及・拡大し、コミュニケーションを活性化していきます。地域居住価値を高めることで、子どもも大人も安全・安心な社会の実現を目指します。

例えば、ご入居を記念して「ハッピープレート」をご提案します。家族の思い出づくりとともに、近隣とのコミュニケーションの橋渡しをいたします。



一例:ご入居を記念した「ハッピープレート」

■ 木望(きぼう)の未来プロジェクト

木育を通して「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「物づくりの楽しさ」を、次代を担う子どもたちに伝えていくための活動です。

地域の森林から得た間伐材※を使用した学習用機の天板を小学校に寄贈し交換することで、老朽化が進んだ机を再生。また、当社社長の宮沢俊哉による『カンナ社長のふれあい授業』を通じて、森林の大切さや間伐の必要性などを伝え、環境への意識を高めます。間伐材を利用した天板は、木材特有の肌触りとやわらかさを備えています。子どもたちが「大切に使う」ことを自覚し、次の人が気持ちよく使用できる気遣いを育てます。

毎年一学年を対象とし、6年間で全学年の天板交換とふれあい授業を実施する計画としています。間伐材を積極的に採用することによって日本の森林を元気にし、地球温暖化防止に繋がっていきたく考えています。

※間伐材とは、森林の木が成長するため間引き(木々の間隔を広くするため一部の木を伐採)された木材のことです



「ふれあい授業」でカンナがけを紹介

<報道関係からのお問い合わせ>

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL: 03-6302-5010 (直通) FAX: 03-5909-5560

●写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>

■ 作品概要

プロジェクト名 : しあわせデザインプロジェクト～ちょっとしあわせまちづくり～

開始年月日 : 2007年6月16日

対象者 : 子ども・大人

背景 : 家庭内のコミュニケーションさえも希薄といわれる現代社会において、「しあわせの種」が子どもたちの健やかな成長・家族の成長をサポートし、やがて地域でのコミュニティに参画できると考えました。地域居住価値を高め、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指しています。

手法 : 当社が提供する注文住宅 OPTIS にスキームとして「しあわせの種」を内包し、住まい手に合わせて段階的に様々なシカケを提供します。これをきっかけに家族の絆や地域とのコミュニケーションを図るとともに、各戸から波及・拡大し、豊かなコミュニティへと育成・管理・支援していきます。また、当社が主宰する全国の工務店ネットワーク「ジャープネット」にてコンテストなどを通じて事例を共有しながら新しいアイデアを創発していきます。

一例 :

① 家族の“うち”遊び



家族内で暮らし方を工夫する段階
家を住まいにするための第一歩として家の中や庭で、家族の成長や庭作りを楽しむ。

② 家族の“のき”遊び



家族でまちに向けた行事に参画する段階
行事に合わせて“のき先”を飾ることで、近隣とのコミュニケーションが広がり、自然と振る舞いの心が芽生える。

③ 家族の“そと”遊び



家族みんな、もしくは個人で興味あるコミュニティに参画する段階
料理教室やものづくり体験等、コミュニティで開催するイベントに参加し、交流を図る。

プロジェクト名 : 木望の未来プロジェクト

体験・入手方法 : 当社拠点のある全国の市区町村の小学校を対象に、間伐材を使用した天板の交換と、当社社長による「カンナ社長のふれあい授業」を実施

開始年月日 : 2010年4月1日

対象者 : 子ども(6才～12才)

背景 : 子どもたちに木の文化や森林の役割、森林を未来に繋ぐことの大切さを伝えるため、木の魅力を五感で感じてもらう「ふれあい授業」や、道具を使用して作ることの楽しさを知ってもらいたいと考えました。また、未来の技術者創出に期待しています。

活動実績 : 2010年度(2010年4月1日～2011年2月末まで)埼玉県と東京都の計4つの小学校で、ふれあい授業と天板交換(565枚)を実施。2011年度からは全国の15支店と、ジャープネットへその輪を広げています。



天板を交換した机



ふれあい授業でカンナがけを体験



自分たちの机の天板交換を体験

アキュラホームは、これからも安全・安心の住まいを提供するとともに、地域に貢献する活動を積極的に取り組んでまいります。